2015 春季生活闘争
共闘連絡会議　第１回全体代表者会議　確認事項

Ⅰ．2015春季生活闘争の推進

○2015春季生活闘争は、2014闘争の運動を引き継ぎ、すべての組合が月例賃金にこだわり、その引き上げによって「デフレからの脱却」と「経済の好循環実現」を実現させる重要な闘いである。様々な状況変化なども予想され、厳しい交渉や難しい戦術配置となる可能性もあるが、社会の期待と付託された責務を認識し、連合・構成組織・地方連合会・単組の縦横での連携はもとより、地域や社会とのつながりも強化し、力強い闘争の展開をはかる必要がある。

○すべての働くものの「底上げ・底支え」「格差是正」の実現に向けた運動の実効性を高めるために、すべての組合は２月中の要求提出、３月内での決着に向けて、交渉配置を検討する。

○地方連合会は、本部の諸行動と連携した行動を各地で展開する。

Ⅱ．当面の闘いの進め方

１．中央闘争委員会、戦術委員会の設置

中央闘争委員会、戦術委員会を設置し、闘争の進め方を中心に協議を行う。

２．共闘連絡会議の実施

各共闘連絡会議は参加構成組織の要求内容を把握し、波及力を高めるために情報交換および情報開示を進めていく。詳細は別途事務的に周知するが、「中核組合」の確認を早期（１月中）に行った後、各単組の要求作成に合わせて「中核組合の賃金カーブ維持分・賃金水準」および「代表銘柄・中堅銘柄」を２月中に開示できるよう準備を進める。また２月中・下旬を目途に、各共闘連絡会議の書記長・事務局長会議を開催し、情勢や要求内容、交渉状況など情報の共有をはかる。

３．回答ゾーンの設定

以下の回答ゾーンを設定し闘いを進めていく。

最大のヤマ場は 2015年３月18日（水）とする。

各構成組織は回答ゾーンを踏まえて交渉日程の調整や必要な戦術設定の準備を進め、最大のヤマ場への集中と３月内決着がはかれるよう努めるものとする。

３月16日～20日：先行組合回答ゾーン（最大のヤマ場：３月18日）

３月23日～31日：中堅・中小集中回答ゾーン

４～６月以降の闘い方：連合（地方連合会）役員による激励行動、地方の中小共闘センターごとの取り組みについて検討する。

Ⅲ．当面の日程

（１）機関会議

2014年12月　2日	第69回中央委員会【闘争方針決定】
12月～2015年１月	第１回各共闘連絡会議書記長･事務局長会議
12月 22日	第１回戦術委員会（第21回三役会後）
12月 24日	第１回中央闘争委員会（第15回中央執行委員会後）
2015年 1月 20日	第２回戦術委員会（第23回三役会後）
1月 22日	第２回中央闘争委員会（第16回中央執行委員会後）
２月中・下旬	第２回各共闘連絡会議書記長･事務局長会議
2月 17日	第３回戦術委員会（第24回三役会後）
2月 19日	第３回中央闘争委員会（第17回中央執行委員会後）
3月　3日	第４回戦術委員会（第25回三役会後）
3月　5日	第４回中央闘争委員会（第18回中央執行委員会後）

（２）諸行動

2014年11月 25日	2015春季生活闘争・格差是正フォーラム
12月　5日	労働者保護ルール改悪阻止 全国集会
12月 10～11日	全国一斉集中労働相談ダイヤル
2015年 1月　7日	「2015連合白書」学習会
1月下旬	連合・経団連定期協議
2月　5日	2015春季生活闘争・闘争開始宣言2･5中央総決起集会
2月　12～14日	全国一斉集中労働相談ダイヤル
3月　5日	国際女性デー全国行動・中央集会
3月 12日	2015春季生活闘争・政策制度要求実現3･12中央集会
4月　2日	2015春季生活闘争・共闘推進集会

以　上

2015 春季生活闘争　共闘連絡会議　第１回全体代表者会議確認／2014.11.20

2015 春季生活闘争　共闘連絡会議の構成と運営について

１．共闘連絡会議の構成

共闘連絡会議は以下のとおり５つの共闘連絡会議を38構成組織によって構成する。なお、闘争の進展にあたって共闘内で調整が必要となった場合は、代表者および幹事にて協議することとする。

共闘連絡会議	金　属	化学・食品・製造等	流通・サービス・金融	インフラ・公益	交通・運輸
登録数	6	7	11	9	9
代表者	相原康伸 （自動車総連会長）	永芳栄始 （ＪＥＣ連合会長）	逢見直人 （UAゼンセン会長）	小俣利通 （ＪＰ労組委員長）	山浦正生 （運輸労連委員長）
幹事	有野正治 （電機連合委員長）	逢見直人 （UAゼンセン会長）	浜田一郎 （生保労連委員長）	野田三七生 （情報労連委員長）	藤井一也 （私鉄総連委員長）
	眞中行雄 （ＪＡＭ会長）	松谷和重 （フード連合会長）	後藤常康 （サービス連合会長）	岸本　薫 （電力総連会長）	
	工藤智司 （基幹労連委員長）				
登録構成組織	自動車総連 電機連合 ＪＡＭ 基幹労連 全電線 全造船機械	ＵＡゼンセン ＪＥＣ連合 フード連合 ゴム連合 紙パ連合 印刷労連 セラミックス連合	ＵＡゼンセン 自治労 生保労連 損保労連 サービス連合 全銀連合 全国農団労 全労金 ヘルスケア労協 全信労連 労済労連	自治労 基幹労連 ＪＰ労組 情報労連 電力総連 全国ガス 全水道 ＮＨＫ労連 森林労連	運輸労連 私鉄総連 ＪＲ連合 交通労連 ＪＲ総連 海員組合 航空連合 自治労 全自交労連

２．部門別共闘連絡会議について

2015 春季生活闘争では、５つの共闘連絡会議ごとの会議を必要に応じて開催し、共同行動・交流、交渉状況などの情報交換や労働条件の比較などを行う。

３．「非正規共闘」について

非正規労働者の労働条件改善の取り組みは全構成組織が参加する「非正規共闘」にて行う。「非正規共闘」は各共闘会議および全体代表者会議／全体書記長・事務局長会議において情報交換等を行い、取り組みを進める。

以　上